

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

「顧客の創造と信頼の確保」「社会への貢献」「未来への挑戦」を基に、エネルギーの有効利用と環境保全に貢献。

売上高
66,283百万円

営業利益
10,613百万円

経常利益
11,235百万円

親会社株主帰属純利益
8,454百万円

② 中長期の経営戦略

1. 収益基盤の持続的強化

プラントメンテナンス工事と新規建設案件の受注拡大で、既存事業の深化・進化を図り収益基盤強化。

3. 経営基盤の強化

デジタル化・グローバル化への適応と人材育成により、経営の透明化・効率化・最適化を推進。

2. 持続的成長戦略の展開

素材産業の設備運転最適化・再生可能エネルギー対応に対応し、事業ポートフォリオ再構築と多角化展開。

4. 海外市場の積極展開

世界的エネルギー需要の高まりを背景に海外市場での受注活動を展開し、中長期成長確保。

③ 対処すべき課題

① 国内マーケット縮小への対応

- ・ 石油・石油化学分野の設備投資伸び悩みと価格競争激化への対抗
- ・ 海外工事受注獲得に注力し、国内ではメンテナンス工事で収益基盤盤石化

② 労働力不足と調達価格上昇

- ・ 建設業全般での労働力不足問題への対処
- ・ 調達チャネル多様化によるコスト競争力強化

③ 再生可能エネルギー対応

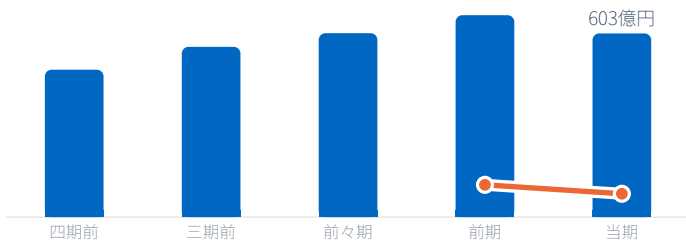
- ・ バイオマス発電の需要増加への対応と新設工事受注獲得
- ・ 京都工場から亀山工場への生産拠点移設による効率化
- ・ 原燃料需給バランス不均衡への懸念への対応

面接で使えるポイント

- ・ 断熱工事・技術を通じた省エネルギー推進や、クリーンルーム・冷凍冷蔵設備工事など多角事業展開が特徴。
- ・ 2024年度～2026年度の中期経営計画で「未来の躍進に繋げる投資」を掲げ、脱炭素社会対応に積極投資。
- ・ 世界的エネルギー需要増を背景に海外市場を重視し、水素・アンモニア防熱技術など次世代技術開発に注力。

証券コード 1976

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
603億円営業利益率
12.7%財務健康度
84点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 55.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
726万円

建設業内 94位/140社

平均年齢
39.7歳

建設業内 129位/140社

平均勤続
13.8年

建設業内 100位/140社

女性管理職
2.7%

建設業内 66位/112社

男性育休
16.6%

建設業内 102位/104社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 明星工業(株)【1976】：決算情報

